



ピンチをチャンスに…

校長 原田 知樹

先日、7日の夜は、1年のうちで一番大きな満月、スーパームーンが見える晩でした。本校の北側からその月を見ていると、まん丸の大きな月が黄色のやわらかな光を放ち、校舎全体を包み込んでいました。それは、宇宙からの心温まる贈り物をいただいているようで、幾つもの年月を経ても変わらずに在り続ける、この星の雄大さに安らぎを覚える一時となりました。現在、社会はコロナウィルスのことで、大変なことになっていますが、このスーパームーンとの出会いのように、身の回りには、見方や考え方を変えると、心の安息や充足、活力となったり、気分転換ができたりと、前向きな行動や落ち着いた生活につながれることが、たくさんあると思います。そのような気持ちで、毎日を過ごしてみるのも、楽しみの一つではないでしょうか。

さて、令和2年度は、4月6日（月）に始業式、入学式を挙りましたが、翌日からは、コロナウィルス感染拡大防止のために、臨時休業となっています。さかのぼれば、子供たち、保護者、地域の皆様には、2月の末からずっと、コロナウィルス感染防止対策のためにご迷惑、ご不便をおかけしています。学校が休業になってしまったことをはじめ、学校が開かれている時も、社会科見学や発表形式の授業が中止となったり、卒業式や入学式、修了式や始業式は縮小して実施したりと、通常時と比べて、様々な変更を余儀なくされることとなりました。お詫び申し上げます。

また、行政から学校に入ってくる様々な情報については、その時々的情勢を受けて刻々と変わり、それに伴い、学校から保護者の皆様へ一度お知らせしたことについても、訂正を入れざるを得ない事態が生じてしまいました。このように、今後の方針や手立てをまとめて、明確にお示しできなかったことにつきましても、申し訳ございませんでした。しかし、人類にとっては未知のウィルスが相手で、先行き不透明なこともあって、今後もしばらくの間は急なお願いや変更で、ご不便をおかけしてしまう状態が続くことが予想されます。何とぞ、現在の混迷した社会状況がゆえのことと、ご理解を賜りますよう切にお願い申し上げます。これまで、学校からはメールやホームページにて、たくさんのお知らせをお伝えしています。今後も、学校からの情報については、確実に閲覧していただきますよう、よろしくお願ひいたします。

今回の事態を乗り越えるためには、一人一人の冷静な行動と、皆で相手を思いやる気持ち、行為、優しさが大切だと思います。「ピンチはチャンス」という言葉がありますが、まさに、その言葉のように、この機をマイナスに受け止めるのではなく、ピンチの裏に控えている幾つものチャンスを引き出すようなプラス思考で捉えて、毎日を過ごしていただきたいと思います。

結びになりますが、どのような状況下でも、いつも子供たちの命と健康を守ることこそが第一です。しかし、一方で学習についても可能な範囲で取り組んでいくことが大切です。お子さんの学習について、このような時だからこそ、ぜひ、保護者の皆様のご協働をいただきたく思います。学校から出される課題や、文科省や教育委員会等が紹介している学習コンテンツ（本校ホームページからも入れます）も活用しながら、ご家庭でもお子さんの学習を見てあげてください。重ねてよろしくお願ひ申し上げます。

今回、保護者会が開催できませんでした。学校経営方針につきましては、前回お配りしました「学校だより4月号の巻頭言」と、本紙裏面の「令和2年度 学校経営グランドデザイン」をもって代えさせていただきます。また、本来、保護者会にてご説明する予定でした、各学年の経営方針や学習内容等につきましても、学年ごとに作成した資料をご覧ください。加えて、本校の職員紹介につきましては、別紙で「令和2年度 職員紹介」（カラー版）を作成しましたので学校だより4月号の3頁にあります「令和2年度 学校教職員組織」と照らしながらご覧ください。

学校再開予定日である5月7日（木）以降の「学習予定」「行事予定」については、まだ、ほとんどが決定されていません。今後、社会状況を鑑みて、区の方針を受けながら決定していきます。決まったことに関しましては、学校連絡メールやホームページ、手紙にてお知らせいたします。ご理解の程、お願ひ申し上げます。

● **現在、分かっていること** …以下のことにつきましても、今後、さらに訂正をさせていただく場合があります。

- ・ 5月30日（土）の運動会は中止、または2学期以降に延期します。
- ・ 6月18日（木）の中学年遠足は、中止、または2学期以降に延期します。
- ・ 6月22日（月）からの宿泊学習（みなみん学級）は、2学期以降に延期します。

→ **これ以外の学校行事等も、延期・中止・縮減等する場合があります。**



国・都・区の教育施策

- ・ 新学習指導要領
- ・ 第3期教育振興基本計画
- ・ 東京都教育ビジョン(第4次)
- ・ 第2次みどりの風吹くまちビジョン ～グランドデザイン構想の実現～
- ・ 令和2年度教育振興部教育指導課の主要施策

確かな学力

「考え表現する子」

自ら学び確かな学力をつける

- ① 「分かる・できるようになる授業」による基礎基本の定着
 - ・ 個に応じた指導の工夫
 - ・ 算数習熟度別少人数指導(全学年で実施)
 - ・ 漢字、計算の定着(ドリル学習・東京ベーシックドリル)
 - ・ ユニバーサルデザインを意識した授業
 - ・ 分かる・できるようになる(知識を得て、それを技能として生かす)授業を目指した授業革新
- ② 「主体的・対話的で深い学び」を促す授業の推進
 - ・ 言語能力の確実な育成(見方や考え方、表現力を養う発表の授業)
 - ・ 学びに向かう力(学習への意欲)、思考力・判断力・表現力を高める授業展開
 - ・ 既存の知識・技能を活用しながら自ら課題を発見し解決に向けて学習の仕方を身に付ける。(問題解決的な学習)
- ③ 読書の習慣化と読書教育の充実
 - ・ 南田中図書館の活用(夏休みの課題として「調べる学習コンクール」への出品・おすすめの本の紹介文を南田中図書館に展示)
 - ・ 朝読書の全校取組
 - ・ 読み聞かせボランティアによる読書活動の推進
- ④ 幼保小連携教育・小中一貫教育の推進
 - ・ 入口(入学期)と出口(卒業期)を大切にした指導
 - ・ 近隣幼稚園、保育園、南が丘中学校との連携

目指す教師像 「学び続ける愛情のある教師」

- ・ 教育のプロとして、一人ひとりの子供のよさや可能性を引き出す肯定的な指導を徹底する。
 - ・ チーム「ナンタナ」を意識し、常に組織的な対応・教育活動を実践する。
- ① 研究と修養に励み、教師力を高め続ける教師
 - ② 子供の幸せ、自己実現を願って、愛情を注ぐ教師
 - ③ 「教育は人なり」教師が最大の教育環境であることを自覚し、学び続ける教師

豊かな心

「助け合う子」

相手に優しさ、思いやりをもって行動する

- ① 温かな人間関係づくり
 - ・ 道徳科の授業改善(自己の生き方についての考えを深める)
 - ・ 異学年交流活動の充実(児童会「みなみ委員会」からの発信)
 - ・ みなみ学級との交流(生活科・運動会・給食など)
 - ・ コミュニケーション能力を高める。(聴く力・温かい言葉遣い)
 - ・ 気持ちのいいあいさつ、返事の徹底(あいさつ旬間)
 - ・ 自主的・実践的な活動で自治的な能力を高める
 - ・ 集団生活における規範意識の向上(移動教室・宿泊学習)
- ② いじめや不登校への適切・迅速な対応
 - ・ 生命の尊重
 - ・ 人権意識の向上、人権を大切にできる空気(ふれあい月間)
 - ・ 教育相談の充実(心のふれあい相談・スクールカウンセラーなど)
- ③ オリンピック・パラリンピック教育を通じた内面の醸成
 - ・ 子供に伝える2つの心(思いやりの心・おもてなしの心)
 - ・ 国際理解教育の実践(フィリピンへのシューズバンクプロジェクト)
 - ・ 伝統文化教育の実践(和楽器体験・鑑賞授業)

学校評価(教職員・保護者・地域の願い)

- ・ 自分の思いや考えを表現できる子になってほしい。
- ・ 自分から考えて(自分で考えて)表現できる子になってほしい。
- ・ 相手に思いやりをもって行動する子になってほしい。
- ・ 人とのかかわり方を身に付けてほしい。
- ・ たくましく、最後までやりぬく子になってほしい。
- ・ いきいきと生きぬく子になってほしい。

健やかな体

「がんばりぬく子」

たくましく最後までやりぬく

- ① 運動能力向上への意識や実践力の向上
 - ・ 体育科授業の改善(みんなが楽しくカー杯運動する)
 - ・ 体力向上への全校取組「体力グングンUP」(持久走・長縄旬間、ミッション7への取組)
 - ・ 全校児童による外遊びの実施
 - ・ 新設された北校庭の活用
- ② 健康な体への意識や実践力の向上
 - ・ 給食だより、保健だよりによる啓発
 - ・ 食育、健康教育の推進
 - ・ 早寝早起き朝ごはんの推進
 - ・ 歯ブラシリサイクルプロジェクトを活用しての健康教育
- ③ 安全安心に向けた取組の推進(危険予知・回避能力の育成)
 - ・ 情報モラル教育の充実(SNS東京ルール、練馬区ルールを受けてSNSナンタナルールの策定)
 - ・ 安全教育(災害時・不審者対応等)、セーフティー教室の実施

家庭や地域との協同・協働

- ① 家庭での基本的な生活習慣の確立(生活振り返り表への記入)
- ② 家庭と協働して進める学習の推進(家庭学習・道徳ノート)
- ③ 家庭と協働して獲得する学習・生活規律(ナンタナスタンダード)
- ④ 地域と協働して進める教育活動(よむよむ隊・地域未来塾など)
- ⑤ 地域と共に伝承していく伝統文化(音楽クラブを中心とした南田中囃子)
- ⑥ 地域力を生かした放課後居場所作り「みなみ広場」
- ⑦ 家庭・地域と協働して進めるいじめ防止への取組(ナンタナメッセージ)

校内研究(外国語活動・外国語科 2年次)

「主体的に学びに向かい、関わり合う児童を育てる」
～すすんでコミュニケーションを行う授業の工夫～

学校標語 目指す子供像(目指す学校像)

笑顔かがやき
優しさいっぱい

- ① 興味関心を抱いて、主体的に考え、学習を進める子
- ② 最後まで粘り強くやり遂げる子
- ③ 人を大切にする優しさ、思いやりのある子
- ④ 保護者、地域、学校を取り巻く全ての人々も笑顔でかがやき、優しさであふれる学校

特別支援教育の充実

- ① 通常の学級との交流、および共同学習の充実(社会性+主体性)(生活科・運動会・遠足・社会科見学・給食など)
- ② 特別な支援が必要な児童への配慮
- ③ 学年の枠を越えた習熟度別学習
- ④ 日常生活とむすびついた学習展開
- ⑤ みなみ学級の教諭が通常学級において、理解教育を実施
- ⑥ 就学に関する相談体制(見学・体験)